

## 編集後記

親鸞教学第七十号をお届けいたします。

今号では、神戸和麿先生は、『論』『論註』の五念門行を通して、穢土を超えて浄土へ歩むということが人間に起こることということの根源を、法蔵菩薩の功德の回施に尋ねておられます。

藤場俊基氏と内藤円亮氏は、日頃の研究の成果を発表してくださいました。

また、昨年度の真宗学会大会での広島大学教授の古東哲明先生と安藤文雄先生の講演を掲載いたしました。古東先生は、「《共に在ること》の凄まじさ」という言葉で、共に在ることを当たり前にしていることに對して、大きな問題提起を下さいました。また、安藤先生は、仏教が少しも身の上に証されないという、その現実を問うところから『選択集』が始まっていることの重要さを指摘されながら、話を進められました。両先生共に、「共に在ること」「現実」という自分にとって一番身近なところに、自分が明らかにしていかなくはならない根本問題があるのだということを教えてくださっているように思います。掲載に際

しまして、ご多用の中、加筆訂正くださいました両先生に、厚くお礼を申し上げます。

金子大榮先生は「自己を知らなければ、一切を知っていても、生活に根拠のないものとなるであろう」（『真宗の要義』）と述べられています。生活に根拠のないものは、自己の依って立つ立脚地が明らかとなっていないものということでしょう。そしてその立脚地は、「自己を知る」という一事において開かれるのであることを、この文章は伝えてくれています。そのような「自己を知る」ということこそ、自己の急務であることが、あらためて思われます。

（藤嶽）

1997年7月25日 印刷  
1997年7月31日 発行

親鸞教学 第70号 定価：本体 1,000円（税別）

編集  
発行

京都市北区小山上総町22  
大谷大学真宗学会  
親鸞教学編集部

発行人 神戸和麿  
大谷大学真宗学会 振替 01060-1-8225

発売

京都市中京区寺町通三条上ル  
文栄堂書店  
振替 01080-4-2948

印刷

京都市南区上鳥羽薬田29  
中村印刷株式会社  
電話 075-(682)-7666番